

## 6 保護者アンケート自由記述について

- (1) 物をなくす、嫌な事があった等、その出来事が起きてからしばらくして言うので対応が遅れてしまいます。悩みがあった時、すぐにSOSが出せるようになると良いのですが…。

今年度末の児童アンケート「困ったことや悩みがあったらだれかに話すことができる。」の結果は、以下のとおりでした。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
とても	61.8%	31.3%	39.1%	30.8%	50.5%	37.0%
だいたい	24.4%	37.4%	29.7%	35.9%	25.3%	35.8%
あまり	8.4%	24.4%	23.4%	17.9%	15.8%	21.0%
ぜんぜん	5.3%	6.9%	7.8%	15.4%	8.4%	6.2%

SOSが出せるかどうかは個人差、環境差がありますが、子供の発達段階の一般的な特徴を理解したうえで対応することも大切だと考えます。

1年生【自立しようとする思いと、愛情を求めて甘えることが共存する時期】

2年生【自我の発達が著しい時期】

3年生【友達にどう思われるか、他者が自分の言動を決める基準である時期】

4年生【友達との小社会の規範が第一で、社会規範とは合い入れないことがある時期】

5年生【他者への思いやりを深め、他者との共存に向かう時期】

6年生【社会的な正義と利己的な要求を両立できる時期】

今年度、学校評価委員会でもSOSの出し方に関する教育の話もありました。来年度、学校では、毎年5年生に行っているスクールカウンセラー全員面談を拡充し、「だれかに話すことができた経験を得て次につなげる」ために全児童が教職員・家族・友達のだれかに話してみようという取組を実施したいと考えています。また、ソーシャル・スキル・トレーニング（SST）を教育活動の中に一層取り入れていきたいと考えています。

SOSの出し方について、学齢期の指導、学校での指導で十分ということはありません。学び、経験したことを実践したり確固たるものとして生かすためにも御家庭と協力して取り組んでいきたいと考えています。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

- (2) 発達障害や特別支援教室について、もっと知りたい。どんな勉強をするかなど。発達障害のグレーゾーンの児童に対しても対処をしてほしい。発達障害を理解していきたいが分からないことが多い。

特別支援教育が広く知られるようになり、保護者の方のニーズも個別の発達障害や対応などの理解へと移ってきたように感じます。今後、発達障害と支援、特別支援教室などについて、現在の区教委の考えや対応を含めてお知らせしたいと考えています。なお、個別の相談はいつでも結構ですので御連絡ください。

他にも御意見・御感想をいただきました。いただいたもの全てを教員で共有しました。また、必要に応じて該当者へ伝え指導させていただきました。ありがとうございました。頂いた御質問やご意見は、本校ホームページの中野第一小学校Q&Aの更新にも活用させていただきます。